

平成 23 年度
事業計画書

自 平成 23 年 4 月 1 日
至 平成 24 年 3 月 31 日

社団法人日本ボート協会

平成 23 年度事業計画

本年度は、定款に定める各事業を着実に実行するとともに、本会が掲げる「国際競技力の強化」、「ボート人口増大」の二大方針を軸に以下の事業に取り組む。

「全日本選手権大会及び各種競漕会の開催」については、競技会開催は協会にとって最も重要な事業の一つであることを再認識しつつ、参加選手の競技力のレベルアップを促して競技内容の充実と活性化を図り、公正かつ円滑な競技運営を行えるよう体制を整える。3月に発生した東日本大震災の影響を受けて、マスターズレガッタの開催延期が現実となり、また、外国クルーの全日本軽量級選手権への連続参加が途絶えるなどの事態も想定されるが、日本のボート競技力を高める原点として各大会の目的と成果目標を明確にして、競技性の向上と運営体制の改善等に積極的に取り組んでいく所存である。また、本年度の全日本中学選手権は、第67回国体（岐阜国体）のリハーサル大会として開催する。中学生世代のボート競技人口の増大と育成は、日本ボート競技界の全体的かつ長期的な発展にとっての重要課題であり、競技力の持続的な向上を図る見地から、この課題に真摯に対応したい。

「国際競漕大会への代表クルーの派遣」については、2012年ロンドンオリンピックに向けての強化活動が3年目を迎え、本年の世界選手権（スロベニア・ブレド）はシニア選手にとって、オリンピック出場権の獲得がかかる極めて重要な大会となる。昨年に引き続き、国内、国外での長期合宿により国際競技力の向上を図り、ワールドカップをはじめとする海外大会で強化活動の成果が発揮できるよう、協会を挙げて出場権の獲得をサポートしていく。また、次の世代の育成が重要かつ緊急の課題となっている現状を鑑み、従来、海外派遣のためのやや限定的な強化活動に特化していたU23世代の選手育成については、有望選手を集めたディベロップメントキャンプを冬季開催することによって年間を通じた強化体制を構築し、過去2年の世界U23選手権での成績が決して偶然でなかったことを内外に示せるよう、組織的な活動を展開していく。

ジュニア世代の強化活動は、今年は世界ジュニア選手権、アジアジュニア選手権への代表派遣を頂点に、冬季合宿の実施を通じて全国的な発掘・育成活動を推進する。

「ボート競技に関する諸規則の制定」については、ボートコースの新規・更新認定業務を都道府県協会、コース管理自治体等と協力して推進し、全国各地で安全な環境下での競技会開催が実現するよう指導と援助に努めたい。

「調査・研究・指導・強化及び普及啓発」については、調査・研究の分野では、医科学上の見地から選手の体力・潜力に関する研究を前年に引き続き行う。審判に関する事業では、審判員の大会派遣、研修と養成の定期的な実施に加えて、FISAと連携してアジア地域における国際審判員の試験・セミナーを8月に開催して、アジア地域から本会に寄せられるボート競技振興に対する貢献要望の声に積極的に応えていきたい。指導者養成・研修事業については、第68回国民体育大会から実施される国体監督に対する日本体育協会公認スポーツ指導者資格の取得義務付けに備えて指導者養成講習会の開催を中心として、インストラクター、アドバイザー養成事業を着実に実施していく。特に、各種の指導者養成は競技者人口の増大に密接に関わることであり、養成講習会の開催回数の増加、開催場所の広域化を通じて参加者の増大を図る。

選手強化事業と競技者育成事業は、この経済環境の厳しい中、選手所属企業・競技団体からの協力を得て、代表候補選手のフルタイム化が実現したので、一層強力に選手強化活動を進めて主要国際大

会での成果に結びつけていきたい。特に、4月～8月のシニア選手の強化は、世界選手権でのロンドンオリンピック出場権獲得に目標を絞り込み、国内と海外で充実した活動ができるようサポート体制を充実させていく。また、U23、ジュニアのカテゴリーでは、長期的な選手強化活動の一環として冬季に次世代の選手発掘・育成を目的とする合宿の開催を計画している。

普及啓発事業は、第24回全国マシンローイング大会を開催し、昨年を超える参加者を集めるとともに、全国的に世代を超えたボート普及活動の柱として内容を一層充実させたい。また、「お台場レガッタ2011」の開催、オリンピックムーブメントへの協力、関連団体の活動支援等を行い、ボート人口の増大、将来的には総合的な競技力の向上にも繋がる活動を目指した普及活動を展開していく。6月には、FISAと「2011 FISA ワールドローイングツアー琵琶湖ジャパン」を共催し、海外からの参加者に対して日本ボート界の国際イベント運営能力が示せるよう実施関係者との協力と連携を密にしていく。

メディカルサポート・ドーピング検査関連は、大会医事業務に加えて、選手のコンディショニングの管理・指導を行うほか、体力測定の実施を通じて選手の競技力強化に資する情報の提供などにも積極的に関与していく。また、ドーピング検査も主催大会での実施を通じてアンチ・ドーピングに関する普及・啓発を推進する。

「競技者資格の決定」、「競漕艇・附属品規格の決定と審査」、「ボート競技関連図書の刊行」の諸事業についても、都道府県協会、競技団体、その他関係者からの要望に迅速に応えるべく情報収集、整理、配布などを鋭意進めていく。特に、ホームページのグレードアップ、コンテンツの充実に努めたい。

公益社団法人日本ボート協会への移行については、本年の通常総会での議決を経て、移行後の内部統治、内部統制に関わる機関設計、組織、事業等について関係法令に基づき検討を行い、年内の公益法人申請を目標に関連業務を進めていく。

■平成 23 年度実施事業

本会は、ボート競技を振興して日本国民の体力の向上とスポーツ精神を育成することにより、わが国文化の向上に寄与することを目的として、次の事業を行う。

1. 全日本選手権大会及び各種競漕会の開催に関する事業

本年度は、全日本選手権大会及び各種競漕会を以下のとおり開催する。

| 大会名 | 開催期日 | 開催地・会場 |
|--|-----------------------|------------------|
| 第 4 回全日本マスターズレガッタ | <震災により延期> | 福島県「荻野漕艇場」 |
| JAPAN CUP 第 33 回全日本軽量級選手権大会 | 5/20 (金) ～5/22 (日) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| JOC ジュニアオリンピックカップ 第 9 回全日本ジュニア選手権大会 | 6/10 (金) ～6/12 (日) | 熊本県「菊池市斑蛇口湖ボート場」 |
| 第 61 回全日本社会人選手権大会 | 7/2 (土) ～7/3 (日) | 宮城県「宮城県長沼ボート場」 |
| 第 31 回全日本中学選手権競漕大会 | 7/30 (土) ～7/31 (日) | 岐阜県「川辺漕艇場」 |
| 第 59 回全日本高等学校選手権競漕大会 | 8/6 (土) ～8/9 (火) | 岩手県「田瀬湖ボートコース」 |
| 第 38 回全日本大学選手権大会 | 8/25 (木) ～8/28 (日) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| 第 51 回オックスフォード盾レガッタ | 8/27 (土) ～8/28 (日) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| 第 89 回全日本選手権大会 | 9/15 (木) ～9/18 (日) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| 第 66 回国民体育大会ボート競技 | 10/2 (日) ～10/5 (水) | 山口県「豊田湖特設ボート競技場」 |
| 第 52 回全日本新人選手権大会 | 10/14 (金) ～10/16 (日) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| 第 23 回全国高等学校選抜大会 | 24/3/23 (金) ～3/25 (日) | 静岡県「浜松市天竜ボート場」 |

2. オリンピック大会及びこれに準ずる国際競漕大会に日本を代表するクルー及び役員を選定し、参加させることに関する事業

(1) 国際競漕大会派遣事業

本年度は、以下の国際競漕大会へ日本代表クルーを選定し、派遣する。

■シニア

| 派遣大会名 | 開催期日 | 開催国・会場地 |
|-------------------|--------------------|-------------|
| エッセンレガッタ | 5/7 (土) ～5/8 (日) | ドイツ・エッセン |
| FISA ワールドカップ第 1 戦 | 5/27 (金) ～5/29 (日) | ドイツ・ミュンヘン |
| ラッツェブルグレガッタ | 6/10 (金) ～6/12 (日) | ドイツ・ラッツェブルグ |

| | | |
|-----------------|-------------------|-----------|
| FISA ワールドカップ第3戦 | 7/8 (金) ~7/10 (日) | スイス・ルツェルン |
| FISA 世界選手権大会 | 8/28 (日) ~9/4 (日) | スロベニア・ブレド |

■U23・ディベロップメント

| 派遣大会名 | 開催期日 | 開催国・会場地 |
|-------------------|----------------------|--------------|
| FISA 世界 U23 選手権大会 | 7/21 (木) ~7/24 (日) | オランダ・アムステルダム |
| 第 14 回アジア選手権大会 | 10/13 (木) ~10/17 (月) | 韓国・華川 |

■ジュニア

| 派遣大会名 | 開催期日 | 開催国・会場地 |
|--------------------|----------------------|-----------|
| FISA 世界ジュニア選手権大会 | 8/4 (木) ~8/7 (日) | イギリス・イートン |
| 第 17 回アジアジュニア選手権大会 | 10/13 (木) ~10/17 (月) | 韓国・華川 |

(2) 国際審判員派遣事業

本年度は、以下の国際競漕大会へ国際審判員を派遣する。

| 派遣大会名 | 開催期日 | 開催国・会場地 |
|--------------------|----------------------|------------|
| 2011 アジアカップ | 6/2 (木) ~6/5 (日) | シンガポール |
| FISA 世界選手権大会 | 8/28 (日) ~9/4 (日) | スロベニア・ブレド |
| FISA 世界マスターズ | 9/8 (木) ~9/11 (日) | ポーランド・ポズナン |
| 第 14 回アジア選手権大会 | 10/13 (木) ~10/17 (月) | 韓国・華川 |
| 第 17 回アジアジュニア選手権大会 | 10/13 (木) ~10/17 (月) | 韓国・華川 |

(3) 国際関係事業

国際連盟の事業方針、競技規則、大会開催計画、各国の動向など、最新情報を把握するため、本年度は、FISA、ARF 総会へ担当役員他を派遣する。

| 会議名 | 会議日程 | 開催国・会場地 |
|--------------------|-----------|-----------|
| 国際漕艇連盟 (FISA) 通常総会 | 9/5 (月) | スロベニア・ブレド |
| アジア漕艇連盟 (ARF) 通常総会 | 10/17 (月) | 韓国・華川 |

3. ボート競技に関する諸規則の制定に関する事業

本年度は、以下のような事業を実施する。

コース規格規定に関する事業

都道府県協会から認定（新規・更新）依頼を受けたコースについて、本会コース規格規定に基づき実地調査と認定業務を行う。

4. ボート競技に関する調査・研究・指導・強化ならびに普及啓発に関する事業

本年度は、以下のような事業を実施する。

(1) 調査・研究関係事業

(財) ミズノスポーツ振興財団の助成金交付を受け、下記の調査・研究事業を継続実施する。

- 1) 選手の体力測定データの収集・分析に関する調査研究。
- 2) ローイングスタイル計測装置の開発と応用に関する調査研究。

(2) 審判事業及び審判員養成事業

- 1) 本年度の本会主催・主管大会へ審判長、副審判長、審判員を派遣し、大会審判業務を行う。
- 2) 審判員の養成と技量向上を図るため、以下の審判員資格試験と認定試験及び審判員研修会と講習会を開催する。
- 3) FISA 国際審判員のアジア地域試験・セミナーを行う。

| 研修会名称 | 開催日程・場所 | 参加人数 |
|--------------------------------|---------------------------------------|------|
| 第 77 回審判員研修会 (B 級審判員認定試験併催) | 5/20 (金) ~5/22 (日) 埼玉県「戸田ボートコース」 | 30 名 |
| 第 78 回審判員研修会 (B 級審判員認定試験併催) | 7/2 (土) ~7/3 (日) 埼玉県「戸田ボートコース」 | 40 名 |
| 第 79 回審判員研修会 (B 級審判員認定試験併催) | 10/14 (金) ~10/16 (日) 埼玉県「戸田ボートコース」 | 30 名 |
| 審判員講習会 (C 級審判員認定試験) | 都道府県協会の要請により随時開催 | |
| FISA 国際審判員アジア地域試験・ セミナー | 8/13 (土) ~8/14 (日) 大阪府「大阪ボート協会」 | 20 名 |

(3) 公認スポーツ指導者養成事業

(財) 日本体育協会公認スポーツ指導者養成事業による公認スポーツ指導者養成については、第 68 回国民体育大会（2013 年、東京開催）からの監督への公認スポーツ指導者資格義務付けを考慮し、本年度は以下のような講習会を開催する。

| 養成指導者名 | 開催日程 | 開催場所 | 養成者数 |
|--------------|---------------------|--------|------|
| 上級コーチ (専門科目) | 24/1/6 (金) ~1/9 (月) | 埼玉県戸田市 | 15 名 |
| コーチ (専門科目) | 11/2 (水) ~11/6 (日) | 埼玉県戸田市 | 30 名 |

| | | | |
|--------------------|--------------------|--------|-----|
| 指導員（専門科目） | 11/5（土）～11/6（日） | 群馬県館林市 | 30名 |
| | 11/26（土）～11/27（日） | | |
| | 12/17（土）～12/18（日） | 香川県高松市 | 30名 |
| | 24/1/21（土）～1/22（日） | | |
| | 10/22（土）～10/23（日） | 福岡県福岡市 | 30名 |
| | 24/2/11（土）～2/12（日） | | |
| 12/3（土）～12/4（日） | 岐阜県川辺町 | 30名 | |
| 12/10（土）～12/11（日） | | | |
| 24/1/14（土）～1/15（日） | 長野県下諏訪町 | 30名 | |
| 24/1/28（土）～1/29（日） | | | |
| スポーツドクター | 別途決定 | 東京都内 | 1名 |
| アスレティックトレーナー | 7月～24年3月 | 東京都内 | 1名 |
| 全国指導者講師全国研修会 | 24/2/4（土）～2/5（日） | 埼玉県戸田市 | 20名 |
| 資格更新義務研修 | 4/30（土） | 滋賀県大津市 | 20名 |
| | 10月～12月 | 埼玉県戸田市 | 30名 |

（４）日本ボート協会認定ボートインストラクター養成事業

本会認定ボートインストラクター養成については、本年度は以下のような講習会を開催する。

| 事業名 | 開催日程 | 開催場所 | 主管団体 | 養成者数 |
|----------|----------|--------|----------|------|
| 第1回養成講習会 | 9/4（日） | 岐阜県川辺町 | 岐阜県ボート協会 | 30名 |
| 第2回養成講習会 | 11/20（日） | 福井県美浜町 | 福井県ボート協会 | 30名 |
| 第3回養成講習会 | 12/4（日） | 長崎県長崎市 | 長崎県ボート協会 | 30名 |

（５）日本ボート協会認定セーフティアドバイザー研修事業

本会認定セーフティアドバイザー研修については、本年度は以下の研修会を開催する。なお、本年度から各水域における安全責任者も研修の対象とする。

| 事業名 | 開催日程 | 開催場所 | 受講者数 |
|-----------|------------|--------|------|
| 平成23年度研修会 | 24/2/26（日） | 埼玉県戸田市 | 30名 |

（６）コーチセミナー開催事業

| セミナー名 | 開催日程 | 開催場所 | 講師 |
|----------------|------|----------|------------------------------|
| 競技者育成と潜力向上について | 随時 | 埼玉県戸田市ほか | Mr. D. Maxrath (協会ヘッドコーチ) |

(7) 選手強化事業

本年度は、以下の選手強化事業を国内及び海外で実施する。

| 区分 | 事業名 | 開催日程 | 開催場所 |
|-----|-------------|--------------------|---------------|
| シニア | 4月強化合宿(1) | 3/25(金)～4/2(土) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| | 4月強化合宿(2) | 4/3(日)～4/22(金) | 岐阜県「川辺漕艇場」 |
| | 4月強化合宿(3) | 4/28(木)～5/6(金) | ドイツ・エッセン |
| | 5月強化合宿(1) | 5/10(火)～5/26(木) | ドイツ・ミュンヘン |
| | 5月強化合宿(2) | 5/31(火)～6/9(木) | ドイツ・ラッツェブルグ |
| | 6月強化合宿 | 6/27(月)～7/4(月) | スイス・ブライザッハ |
| | 7月強化合宿 | 7/13(水)～8/5(金) | ドイツ・エルランゲン |
| | 8月強化合宿(1) | 8/6(土)～8/24(水) | ドイツ・ミュンヘン |
| | 8月強化合宿(2) | 8/25(木)～8/27(土) | スロベニア・ブレド |
| | 10月強化合宿 | 10/1(土)～10/22(土) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| | 11月強化合宿 | 11/1(火)～11/22(火) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| | 12月強化合宿 | 12/1(木)～12/22(木) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| | 1月強化合宿 | 24/1/24(火)～1/31(火) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| | 2月強化合宿 | 24/2/1(水)～2/24(金) | 中国・香港 |
| | 3月強化合宿 | 24/3/1(木)～3/22(木) | 岐阜県「川辺漕艇場」 |
| U23 | 最終選考合宿 | 5/24(火)～5/27(金) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| | 第1次強化合宿 | 6/13(月)～6/17(金) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| | 第2次強化合宿 | 6/27(月)～7/1(金) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| | 第3次強化合宿 | 7/8(金)～7/13(水) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| | ディベロップメント合宿 | 24/1/23(火)～1/27(金) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| | ディベロップメント合宿 | 24/2/20(月)～2/24(金) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| | ディベロップメント合宿 | 24/3/26(月)～3/30(金) | 埼玉県「戸田ボートコース」 |

| | | | |
|-----|---------|-----------------|------------------|
| U19 | 第1次強化合宿 | 6/12（日）～6/16（木） | 熊本県「菊池市斑蛇口湖ボート場」 |
| | 第2次強化合宿 | 7/21（木）～7/28（木） | 福井県「久々子湖ボートコース」 |

（8）競技者育成事業

本年度は、日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成事業として、以下の「将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業」を実施する。

| 区分 | 事業名 | 開催日程 | 開催場所 |
|-----|---------|--------------------|----------------|
| U19 | 第1次強化合宿 | 12/15（木）～12/18（日） | 静岡県「浜松市天竜ボート場」 |
| | 第2次強化合宿 | 24/1/18（水）～1/22（日） | 埼玉県「戸田ボートコース」 |
| | 第3次強化合宿 | 24/2/15（水）～2/19（日） | 千葉県「小見川ボート場」 |

（9）普及啓発事業

本年度は、以下の事業を実施して、ボート競技の普及に取り組む。

1) 全国マシローイング大会の開催

第24回全国大会を平成23年9月～平成24年2月の間、全国9ブロックに加え全国10拠点で開催し、参加者4,000名以上、前年度比5%増を達成目標とする。また、全日本選手権大会の出場選手には本大会への参加を奨励する。

2) 「お台場レガッタ2011」の開催

ボート人口増大、魅力向上プロジェクトの一環として、一般愛好者、初心者への参加を募り、参加者、観客が共に楽しめ、ボート競技の魅力を体感できる「ボートイベント」を9月11日（日）、東京都内のお台場海浜公園で開催する。

3) オリンピックムーブメントへの協力

オリンピックデー、その他のスポーツイベントを利用し、エルゴ大会の実施等を通じて広く全国にボートの魅力を伝える活動を推進する。

4) 関連団体の活動支援

中学生、高校生及び障害者のボート競技振興を図るため、それら関係団体の活動に対して助成金の交付と必要な支援を行う。

5) 「2011 FISA ワールドローイングツアー琵琶湖ジャパン」の開催

国際ボート連盟（FISA）と本会の主催、滋賀県ボート協会とNPO法人瀬田漕艇倶楽部の主管により6月4日～12日まで、琵琶湖一周180kmの6日間ローイングツアーを海外から参加者約60名を迎えて開催する。

（10）メディカルサポート、ドーピング検査事業

本年度は、以下の事業を実施する。

1) 戸田ボートコース開催の全日本選手権大会（全日本、全日本軽量級、全日本大学及び全日本新人）へ医師、看護師を派遣し、救急医事業務を行う。

- 2) 全日本選手権大会（全日本、全日本軽量級、全日本大学、全日本新人）に於いて、大会内ドーピング検査を日本アンチドーピング機構（JADA）の委託事業として実施する。
- 3) JADA と連携して、競技団体・選手を対象にアンチドーピングに関する普及・啓発講習会を開催する。
- 4) 国内・海外強化合宿、海外大会へ医師、トレーナーを帯同させ、選手のコンディショニング維持・改善及び指導等を行う。

5. スポーツマンシップの育成と競技者資格の決定に関する事業

本年度は、以下の事業を行う。

(1) 競技者資格の決定

平成 23 年度日本ボート協会主催の競漕会に参加する競技団体及び競技者の資格決定を競技者規定に基づき実施する。

(2) 競技団体、競技者の登録

平成 23 年度の競技団体、競技者登録を行うとともに、当該年度の登録状況を把握する。

(3) 審判員管理システムの構築

審判業務の効率化を図るため、審判員の資格把握、審判技術の向上、従事履歴等の管理システムを構築し、運用を開始する。

6. 競漕艇及び附属具の規格の決定と審査に関する事業

本年度は、以下の事業を行う。

(1) 規格艇の審査と登録

日本ボート協会規格艇登録規定に基づき、規格艇の審査及び原簿登録に関する業務を実施する。

(2) 規格艇の検査

配艇制度のもとで開催される第 66 回国民体育大会、第 59 回全国高等学校選手権及び第 23 回全国高等学校選抜大会に於いて、競漕艇の検査業務を行う。

(3) 情報収集と提供

競漕艇、レクリエーション艇、オール等の調査・研究・開発に資するため、専門情報を収集し、関係者へ提供する。

7. 各種ボート競技に関する図書の刊行に関する事業

本年度は、以下の事業を行う。

(1) 協会広報誌の発行

「ローイング」を定期発行する。読者管理システムを活用して新規購読者の獲得を行う。このほか、各種の紹介資料、報告書等を作成・配布し、本会事業のPRに努めるとともに、会員募集、協賛募集、寄附募集等に活用する。

(2) 指導教材の作成

公認ボートインストラクター養成テキストを刊行する。

(3) 本会公式ホームページ

ホームページの速報化と掲載情報量のアップを図るとともに、本会の事業・広報活動に一層役立つよう内容充実に努める。

(4) 報道機関、マスコミへの対応・協力

東京運動記者クラブをはじめ報道機関、出版業界との関係を密にして、報道を通じて本会の活動の広報に取り組む。また、ニュースリリース等をタイムリーに発行し、報道機関へニュースソース提供を積極的に行う。

8. その他の目的を達成するため必要な事業

(1) 協会財政基盤の強化

日本オリンピック委員会、日本スポーツ振興センター、その他の団体と個人に対して、当協会の実施事業の重要性について理解を得るための活動を行い、可能な限りの助成と援助を依頼する。さらに、協会の諸事業、募金活動等を通じて自主財源の確保に努めるなど、積極的に財政基盤の強化に取り組む。

(2) ボート人口増大運動の継続

都道府県ボート協会、全国ボート場所在市町村協議会、その他の関連団体等との連携を通じて、全国のボート関係団体・個人との交流を推進し、ボート人口増大、魅力あるボートライフの創出、イベント企画等を行い、長期的なボート人口増大活動を展開する。

(3) 新公益法人制度移行に関する業務の推進

公益社団法人日本ボート協会へ移行し、新制度のもとで協会運営を行うため、定款変更案の作成と新たな機関設計、事業計画と事業予算の策定、その他の必要な業務を推進する。

以上